

第三頁  
砲

局長  
評文  
1569

軍事機密

小松原  
部隊本部  
特報發第五

軍馬蘇領内逸走ニ關スル報告

昭和拾參年拾月拾九日

第二十三師團長小松原道太郎

陸軍大臣板垣征四郎殿

首題ノ件陸軍報告規程第四條第三項ニ依リ別紙  
ノ通リ報告ス

陸軍省  
13.11.9  
陸軍部

陸軍省  
13.10.29  
馬政課

陸軍省  
13.11.-9  
受領  
兵務課

軍  
和  
10.29  
後午  
官置

陸軍省  
13.11.12  
陸軍部  
銃砲課

第二十三師團

軍馬蘇領内逸走ニ關スル報告

一 逸走ノ場所

滿洲國興安北省滿洲里西方約八料ノ地點  
(別紙第一要圖ノ如シ)

二月 日時

九月二十日十時五十分頃

三 狀況

第二十三師團搜索隊第五中隊

陸軍騎兵伍長 田端 喜八郎

同 一等兵 森田 信房

同 丸井 里義

同 畑中 實夫

同 近藤 祝

同 二等兵 黒木 藤太郎

陸軍

六名ハ九月二十日五時「ツアンガンオーラ」監視哨ノ交  
 代ヲ了ヘ屯營ニ帰還途中十時五十分頃滿洲里  
 西方約八料ノ地點ニ於テ大休止ヲシタル際乘  
 馬ノ管理不適當即チ水與及兵負傷ニ放置  
 自由採草セシメシ爲偶々乘馬ノ一頭何物ニカ  
 恐怖シ突然逸走ヲ始メ同時ニ全馬疾駆ス  
 ルニ至リ兵全員之ヲ捕ヘシトシタルモ漸ク一頭ヲ  
 押ヘ得タルヲ以テ田端伍長之ニ騎乘シ追及  
 シタルモ及ハス遂ニ八六驛方面ヨリ蘇領内ニ逸  
 走セシメタリ

田端伍長ハ書類ヲ携帶シアタル爲蘇領  
 内ニ入ル能ハス已ムヲ得ス其ノ乘馬ニ兵ヲ騎乘セ  
 シメ部隊長ニ報告セシメタリ時ニ十三時甲分  
 之ヨリ曩十二時四十分部隊長ハ「ホルタル

監視哨ヨリ日本軍放馬五頭南方ヨリ  
 八六驛ニ向ヒ逸走シ來リタルヲ以テ之ヲ捕ヘント  
 セシモ能ハス乘馬蘇領内ニ入ルヤ蘇聯兵現  
 出シ直ニ之ヲ「マツケエフスカヤ」方向ニ誘導セ  
 リ」トノ報告ヲ受ケタルモノ如シ  
 (現場附近ノ状況添付第一、二、三、要圖ノ如シ)

## 四原 因

一週間連續勤務ノ結果身心疲労方シアリ  
 トハ言ヘ平素馬取扱ニ關シテ嚴重注意シ  
 アルニ拘ラス大休止ヲ爲スニ當リ之ヲ繫畜スル  
 事ナク濫ニ放置自由採草セシメタル不注意  
 ノ致ストコロニシテ第一線部隊兵員タルノ自覺  
 十分ト認メ難ク野外軍紀弛緩ニ基クモノ  
 ニシテ平素部隊長ノ統率指導宣敷ヲ

得サレモノアルニ因ル

五 被害物品及其ノ價格

(1) 乘馬 五頭

被害價格 貳千貳百五拾圓

(2) 兵器 被服 糧秣 練習用具 陣營用具

衛生材料 私物品等 別紙員數表ノ通ニ

シテ

被害價格七百參拾四圓參拾五錢

合計金貳千九百八拾四圓參拾五錢

六 處置

急報ニ接シテ搜索隊長ハ直ニ第一中隊長

ヲシテ現場ニ急行セシメ現地調査並ニ人員

ノ收容ニ任セシメタルモ逸走馬ニ對シテハ最

早如何トモスル能ハス人員ノミ收容シ取不取

(天連高本納)

師團長ニ對シ電報々告セリ  
七、責任者ノ處分

陸軍騎兵伍長 田端喜八郎

乘馬五頭ヲシテ放馬蘇領内ニ脱逸セシメタリ科

重謹慎 十日 中隊長

同 加罰二十日 部隊長

陸軍騎兵等兵 森田信房

同 丸井里義

同 畑中實夫

同 近藤祝

同 二等兵 黒木藤太郎

重營倉 四日 中隊長

同 加罰二十日 部隊長

陸軍騎兵大尉 青山 喬

陸軍

部下田端伍長以下六名乘馬五頭ヲシテ蘇領内ニ脱逸セシメタル科

重謹慎

十日

部隊長

陸軍騎兵中佐

東

八百藏

同

輕謹慎

三日

師團長

八、其他必要ナル事項

(1) 八六驛ハ本事件後監視兵ヲ増加シ警戒ヲ

嚴ニシアリ

(2) 九月二十日正時五分「アイラー」南側地区

ニ於テ蘇聯騎兵百三十三、戰車約三十輛

現存演習ヲ實施シ十七時五分頃西北方

ニ影ヲ没ス

九月二十日大木山ニ派遣シアル増田少尉ノ報告

(大塚高木稿)

ニ依リ六十時五分再ヒ「アイライク」西南側ニ  
戰車現出シ演習ヲ開始ス

右ハ野營演習ニ引續キ行ハレ且ツ九月十三日

「ダウリヤ」兵營附近ニ集合シタル戰車(約三千輛)  
カ移動セルモ力或ハ當面國境警備部隊ノ集  
成演習ノ如クモ思ハル、一面我馬正奪回行  
動ニ對ス示威的演習ニアラサカトモ推斷セ  
ラレ

何トナレハ滿洲里ニ近クス如キ大ナル部隊ヲ以テ演  
習セシ例極メテ稀ナルヲ以テナリ

(3) 以上ノ如クナルヲ以テ情勢ノ變化ニ注意シ一層警戒  
備ヲ嚴ニシアリ

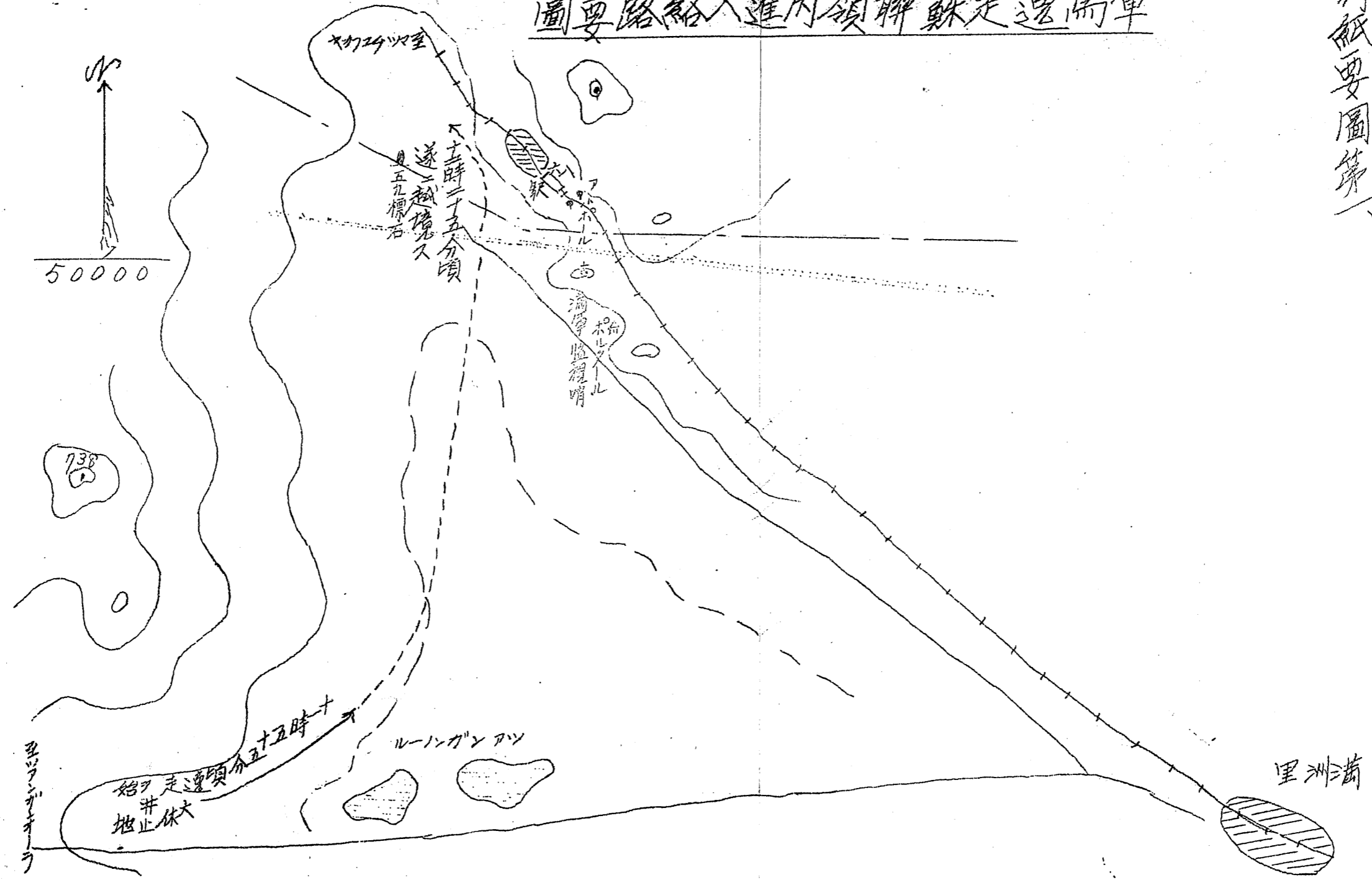
(4) 本事件ハ第一線部隊トシテ重要ナル馬匹及兵器  
ヲ敵手ニ委シ皇軍ノ名譽ヲ損シタル事極メテ



大ニシテ部隊長ニ對シ將來更ニ軍紀ノ緊縮ヲ  
 計リ精神的訓練ヲ徹底セシメ再度令回ノ如キ  
 不詳事ヲ惹起セシメサラン事ヲ誓ヒシメ部隊長  
 以下責任者ニ對シ前記ノ如ク處分ヲ斷行シ  
 嚴ニ訓戒ヲ與ヘタリ

軍馬逸走蘇聯領内進入経路要圖

別紙要圖第一



圖要況情ル於時走逸馬陣

別紙要圖第六



遼走馬蘇領内進入時情况要圖

